

■ ■

市が洞小学校区
地域共生ステーション
づくりワークショップ

第2回の報告です！
わたしたちのまちの居場所を考えよう！

通信 02



全4回プログラム

(場所 | 旧長湫南部土地区画整理組合事務所)

第1回 (2/21 (日) 9:30 ~ 11:30)
何のための地域共生ステーション??
～市民主体の多世代居場所づくりとは～

★第2回 (3/13 (日) 9:30 ~ 11:30)
こんな地域共生ステーション、つくりたいナ!
～使い方イメージと設計の前提条件を考える～

第3回 (3/27 (日) 9:30 ~ 11:30)
色々な設計案を吟味しよう!
～自分たちが使いやすい空間を考える～

第4回 (4/17 (日) 9:30 ~ 11:30)
設計案のまとめと運営のあり方
～自分たちで、自分たちの居場所を運営するには～

地域共生ステーションとは、地域で気軽に集い、語らい、地域の様々な課題に対する取組を行うための拠点となる「場」です。地域主体の運営を目指しています。(小学校区単位の組織であるまちづくり協議会による運営) 3月13日には、市が洞小学校区の地域共生ステーションを皆さんで考えつくっていくためのワークショップの第2回が行われました。(全4回)約30名程の多世代の方が集まりました。今回はその様子をお届けします。

●市が洞小学校区って、どんなところ？

新宅 巧さんより(市が洞小学校区まちづくり協議会設立準備会 世話役)

市が洞小学校区は、人と自然、人と人がふれあう「雑木林(みどり)の風薫るまち」として誕生しました(H10-27区画整理事業)。まちの魅力を増やし課題を解決する場としての拠点について、みなさん一緒に考えていきましょう！



「こんな地域共生ステーション、つくりたいナ

～使い方のイメージと設計の前提条件を考える」

第2回の今回は、皆さんのキモチをカタチ(基本設計)につなぐため重要な回となりました。

①敷地探検！周辺の環境や、現状の建物がどうなっているかあらためて確認しました。



設計者の山田さんから建物の現状について説明がありました。「どこなら増築可能か」「どこをたまり場にするか」と自然の魅力を取り入れることができるか」等々思いをめぐらせました！

②こんな使い方したいな！の思いを出しあいました。



色々な場所の使い方をイメージできる写真が用意されました。自分の希望に近い写真を各々が選び、「具体的にこんな空間で、こんな使い方したい！」という思いを出しあいました。

③「空間のつながりゲーム」と「仕上げの論点シート」



「空間カード」をつかって、配置を考えました。自分たちの希望は制約のある空間の中で、どう生かしていけるでしょうか？沢山のアイデアがでました。「自由度が高く沢山の活動を受け入れられる空間に！」

④発表と「仕上げの論点」確認！



「ほとぎのさととは、陶片のレプリカを壁展示にしてロッククライミングに仕立てよう」の発表に笑い炸裂の参加者たち。最後には設計に必要な空間の骨格となる論点を確認しておわりました。

「こんな使い方・空間がいいナ」つぶやき集

市が洞小学校区地域共生ステーションづくりワークショップ第2回のつぶやき集です。グループワークでは、第1回目に出た意見を具体的にイメージできるような写真が用意されました。写真のイメージを頼りに、具体的に「こんな使い方・空間がいいナ」のつぶやきを班毎に出していきました。 ※掲載写真はグループワークで選ばれた写真です。(数字無しは1票)

0) 基本的な考え方

- (2班) 基本全体がフリースペースのイメージ
- (4班) 地域の人が憩い集い交流し遊ぶスペース



1) ほとぎのさと展示

1-1) 複合的にしっかり伝えよう

- (7班) 本物及び須恵器レプリカ、発掘された破片の現物、窯レプリカの複合的な展示が望ましい



1-2) このまちの特徴として伝えたい

- (1班) "このまちの特徴を知ってもらいたい。エントランス部分に展示"
- (7班) 展示は、エントランス付近にして多くの人に見て欲しい
- (2班) ステーション利用者だけでなく、通りがかった人も気軽に観れるように
- (2班) ショーウインドウ風に、ライトアップも。スペースの有効活用

1-3) 資料館との役割分担も考えて

- (2班) 展示エリアは広くはならない
- (2班) 資料館との役割分担、展示物の入れ替えをするなど

1-4) 身近に触れられる展示にしたい

- (3班) 既設倉庫取扱いについて、「蔵」(収納、かくれんぼ、展示)として、多用途に転用

- (4 班) フリースペースの中で、みんなが見れるところにあつたらいい。また、一般の人の展示スペースもありいろいろと展示されるといい
- (5 班) ほとぎの里のレプリカをロッククライミングに活用。窯跡出土品を見ながら登ることができる
- (6 班) くつろげるような空間にしたいのに、本物だとセキュリティが厳重になるため、硬い雰囲気になっちゃいそう・・・
- (6 班) 子どもにも分かる展示をしたい(子どもにとっては自分の『ふるさと』となる場所の歴史を、レプリカで触れることができる形の展示にすることで身近に感じられるようにしたい)
- (6 班) 壁面利用(すべて埋め込むのではなく、パズルのように外せるピースがあってもいいかも)
- (7 班) ハンズオン展示があるといい(いくつかは本物を展示するにしても)
- (7 班) 展示方法は、体験型がいい(作れる、触れる体験型の展示を取り入れる)

1-5) 展示の工夫

- (6 班) 博物館のように小さなプレートで解説も一緒に展示する、もしくは解説できる詳しい人がいたら居てもらう(ほとぎのおじさん!)

2) 会議室とフリースペースの関係



2-1) 会議できる空間は必須

- (1.5 班) 小さいスペースも欲しい。
- (3 班) 小さくてもいいけど、一つは必要
- (4 班) 会議室足りない
- (7 班) 少人数で打合せがしたい(小さなテーブルもいくつかあるといい)

2-2) フレキシブルにフリースペースとつなぐ



- (2.5 班) 大はフリースペースを兼ね、区切ったりできることが大事
- (4.5 班) 常時小スペースでいい+フリースペース大人数の会議は両方をつなぐ(可変式)
- (6 班) 区切った形は不要、オープンに
- (2 班) 机、イスも折りたたみ式で
- (2 班) 基本フリースペースも兼ねる

- (3 班) 閉鎖されたスペースばかりは×
- (4 班) 町内会・シニアクラブ・子ども会などが自由に使える会議室兼交流室

(7班) 地域住民が思い思いのイベントを実施できる空間にしたい(40人から50人が集まれる空間が必要)

(7班) フリースペースと共有することで、フレキシブルに対応ができるようにしたい

3) フリースペースについて

3-1) 多世代交流の場所に



(1,5班) 地域の多世代交流

(2班) 現在のフリースペースも活かす

(2班) こどもが安全に過ごせるようじゅうたん

(2班) じゅうたんでこども安心

(3班) 学童との連携

(4班) こども食堂のように地域で子どもを育てていく。もちろんお年寄りにも手伝ってもらおう。

(4班) 子どもからシニアまでの交流の場づくり

(5班) 利用してもらう人の幅を広げたい

(5班) 一番利用高い年代は?

3-2) 自由度のある空間にしよう



(1,3班) 1フロアでも集会ができて、間仕切りがあるスペース【空間】

(3班) 会議機能、造成経緯展示、自然経緯展示

(3班) 気軽に立ち寄れ、雑誌コーナーもある場所

(5班) 前回も上がっていましたが、高校生中学生も利用してもらえるスペース勉強ができるスペースがあったり、ダンス部などの部活やサークルの人が練習できるスペースになったり幅広く利用出来る空間になったらいいです

(5班) 小規模なイメージ 家に帰ったほっと感がある

(5班) 近くに毎日日替わりで集まれる(絵本読み聞かせ、工作イベントなど)広めのスペース

(5班) お昼持込み時間制限なくゆっくりできる場所

(5班) キッチンアイランドにする。キッチンが使わない時にはフタをして、テーブルにすることができるといい。

- (6班) 会議室 兼 フリースペース(ミニコンサートや写真展が開けるような場所にしたい)
- (7班) 3D プリンタでモノをつくりたい(皆で考えて市が洞オリジナルのモノができないか・・・)
- (7班) 子どもが退屈しない空間にしたい(その間大人はイベントで楽しむ)
- (7班) 畳スペースがあるとくつろげる(お昼寝ができる)
- (7班) 自然が感じられる、ゆったりとした空間にしたい
- (4班) 音楽(少人数で音楽演奏ができるスペース)
- (4班) 音楽演奏する際のステージがあるといい
- (6班) wi-fi が欲しい(土日に親子で来て、子どもは自然で遊ばせながら親はパソコンで作業ができる)

3-3) 受付をフリースペースに

- (1班) オープンな受付、ワンストップコンシェルジュ

3-4) 「食べる」キッチン・カフェを中心に



- (1.2.3班) キッチン はオープン。【空間】
- (2班) 水廻りを充実させる
- (4班) そば打ち・ケーキ作り・憩いの場所活用
- (2班) カフェスペース設置は一致
- (4班) カフェ 地域の方が運営するカフェに地域の方が集うコミュニティビジネス
- (4班) 居酒屋 日程時間等を決めて誰でも集まる居酒屋の開催
- (5班) 食材を持ち込み、料理して食べながら交流を図る(アルコールも)
- (6班) 可動式囲炉裏 可動式や、蓋付きのタイプの囲炉裏なら使うときだけ出せて邪魔にならない
- (7班) カフェスペースが欲しい(一息付ける場所)

3-5) 「キッズコーナー」—見守り・陽当たり・隠れ家・ロフト



- (1 班) キッズコーナーは押入れ基地
- (2 班) 会議・集会の際にも機能するように
- (2 班) 人の目がとどきやすいように
- (3 班) 小さな子どもの見守りができるキッズスペース→そうなるとういママもいろいろなイベントができる
- (4 班) 陽当たりの良い場所はキッズスペースがいい
- (5 班) 大人の死角に子ども隠れ家が必要（「お母さんと一緒に来たけど、秘密のあそこで内緒話」。）
- (7 班) キッズコーナーが欲しい(子どもが集まると大人も付き添ってくる)
- (7 班) 建物屋内南側(陽当たりの良い場所はキッズスペースに)



2 票

3-6) 市民が育てる空間に！



①市民ギャラリー

- (3 班) 会議機能、造成経緯展示、自然経緯展示
- (4 班) 南部地区のアートフェスティバルの活動場所として

②情報スペース／持ち寄り図書

- (4 班) 持ち寄りライブラリー（情報）皆で本を持って来る、貸すのもあり、本を情報と考えて、チラシパンフポスターも含める
- (6 班) 気軽な地域図書館（中央図書館が少し遠いので、大人も子どもも気軽に本を読める場所があると良い）
- (7 班) 市民が持ち寄った図書スペースがあるといい 本のリサイクル
- (7 班) 好きな本を持ち寄って読書会がしたい（ビブリオバトル・・・）



3 票

4) 内外つながり空間について

4-1) 周辺環境とつなぐ

- (2 班) お金をかけず、屋根とイスがあればいい。自由に考え、自由に使える。
- (2 班) 安全に屋外（自然の中）で遊べるように
- (3 班) 学童と共生ステーションが行き来しやすい場とする。ウッドデッキ、木製遊具

(3班) 雨の日も使える



- (4班) 5~10人ぐらいがくつろげるカフェデッキ
- (4班) もちつきは子どもが大好きでやりたがる。なかなか家ではできない大人数でやると楽しい。
- (4班) カフェデッキと室内のカフェスペース（出入りができる）倉庫は必要そのまま
- (5班) 倉庫スペースをウッドデッキスペースに！
- (5班) 外の光を取り込めるようステンドグラスがあるといい！室内にいても外の光を感じられたら最高！
- (6班) 倉庫を子どもの秘密基地として残して渡り廊下でつなげる



4-2) ウッドデッキ・縁側でフリースペースと外をつなぐ



- (1班) エントランスは現在位置活用だが、ウッドデッキからの入口もサブで欲しい。
- (1班) フリースペースの位置キッズコーナーの位置は大切
- (2班) フリースペースの東側を半中半外みたいにできたら、広がりのある空間に
- (6班) 和風な縁側（市の施設はオシャレでモダンな建物が多いように思うので、昔ながらの縁側があような建物が良い、秋には縁側でお月見泥棒をしたり！）
- (7班) ハンモックがあったり、ペット同伴可能なスペースがあったり・・・
- (1班) デッキで昼食したり、学童クラブとも交流
- (2班) 倉庫のある位置は湿っぽいから難しいか



- (2班) 自然に近い東側
- (2班) 雨の日でも晴れの日でも使えるオープンデッキ
- (4班) その日の天気によって外でお茶ができたらいい
- (5班) いつでもだれでも使える集いの場として管理のいらぬオープンデッキとする

4-3) エントランスでつなぐ

- (2班) エントランスは今あるところ
- (3班) エントランスは北側に（北側からのアプローチを意識）
- (3班) 玄関は広く！

5) 赤ちゃん駅（授乳など）

（4 班）トイレではないけど近くにある。おむつの交換台、授乳スペース、調乳用のお湯、手洗いなどがある。

6) 落ち着ける困われた相談室

（6 班）ちょっとした困りごとの相談室（"福祉の相談ができる部屋があると良い4人入れるくらいの狭くても落ち着ける部屋"）

7) トイレ

（2 班）誰もが使用しやすく（こども・高齢者・障害者・みな使いやすく）

（3 班）トイレの数が少ない

8) その他（収納・倉庫／アニマルコーナー）

（4 班）活動していくうえで、収納スペースは必ず必要。あった方が絶対にいい。

（6 班）アニマルコーナー（マンションが増えるとペットを飼えなくなるため、保護犬や保護猫を飼えるといいな）

9) 調整池エリア全体のこと



（1 班）散策路を整備して、地域交流ルートにする

（1 班）入りやすい交流しやすい配慮。

（1 班）学童とのつながり、自然とのつながり

（2 班）自然とのつながり

- (2班) 安全が大事！
- (3班) 貯水池が親水空間になっていない
- (3班) 貯水池を利用
- (3班) 水辺散策
- (3班) 鬱蒼としてる、美しさがない
- (3班) 学童とのつながり、自然とのつながり
- (4班) 散策路交流
- (5班) 季節ごとに咲く花と実る果実
- (5班) 池に鴨がいるので、それを捌いて「鴨鍋に・・・」斬新な発想で！
- (6班) 散策路を活かす
- (6班) 水辺とのつながり（ウッドデッキを水辺までつなげる、水辺の近くの施設はあまりないし、池には鴨が来るので野鳥観察などをして散策できる）
- (7班) 野菜作りしたい（あいている敷地の有効活用）
- (7班) 朝市を開催したい（駐車場で定期的に）
- (7班) ドッグランで仲間を増やしたい（あいている敷地の有効活用）
- (7班) 児童クラブとの連絡通路で交流したい（児童クラブの人手不足解消になるか）
- (7班) 建物屋外北側でドッグラン、プチ農園、餅つき大会などができそう
- (7班) 気軽に散策できて、施設に戻ればカフェでくつろげる・・・今の自然環境を活かせたら最高ではないか
- (7班) 北西エントランス空間は隣地境界線にある看板を撤去したい
- (7班) 倉庫東スペースは陽当たりが良いため、活動スペースとしたい
- (7班) 学童保育所と共生ステーションの間に渡り廊下を設置し、自由に行き来できるようにならないか。（管理上難しいのではないか。）

10) 全体に留意したい点



『ぼくの庭ができたよ』ゲルダ・ミュラー作、文化出版局

- (2班) バリアフリーを最優先に考えたい（入り口・土間など）
- (2班) 今あるモノを活かす
- (3班) 建物北側は寒いので、溜まれるスペースは厳しいのでは？
- (1班) 地域の人以外も訪れたい施設に。

11) 運営について

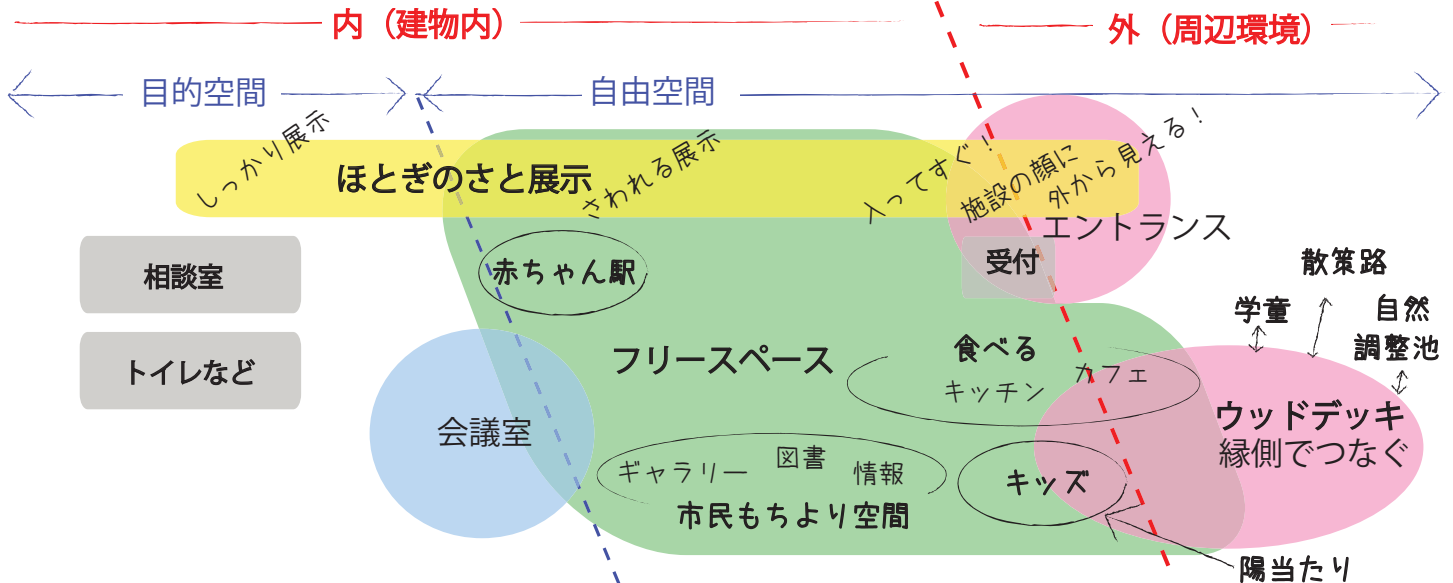
- (1班) 誰が運営するのかな。
- (3班) 少人数の利用も多い
- (3班) ルールづくりが大切、住民で管理
- (3班) 共生ステーションという名前がよくない？

「こんな使い方したいナ」から基本設計へ

みなさんの「こんな使い方したいナ」と「空間のつながり」ゲームから、基本設計につながる基本的な要件が見えてきました。

全体がフリースペースの雰囲気！

地域の人が憩い集い交流し遊ぶスペース！



一体的
ゆるやかにつながる空間づくり

1) 【ほとぎのさと展示】

このまちの顔としてしっかり展示&さわられる身近な展示など複合的に伝えよう！

2) 【会議室とフリースペースの関係】

会議室は必要！大きい集まりはフリースペースと共有することで、フレキシブルに！

3) 【フリースペース】

多世代交流の場所に！自由度のある空間で多様なニーズを抱擁できる

→ エントランスとフリースペース直結でオープンに

→ 「食べる」キッチン・カフェを中心に（オープンキッチンか、独立型か、アレルギー対応等きめ細かい配慮）

→ 「キッズコーナー」—見守り・陽当たり・隠れ家ロフト

→ 市民が育てる空間に！（①市民ギャラリー②情報スペース／持ち寄り図書）

4) 【内外つながり空間について】

→ 周辺環境とつなぐ

→ ウッドデッキ・縁側でフリースペースと外をつなぐ

→ エントランスでつなぐ

5) 【赤ちゃん駅（授乳など）】

6) 【落ち着ける囲われた相談室】

7) 【トイレ】 → 誰もが使用しやすく（こども・高齢者・障害者・みな使いやすく）

8) 【その他】 → 収納・倉庫 → アニマルコーナー

9) 【調整池エリア】 → 全体の価値を上げる、と捉えて！

10) 【全体に留意したい点】 → バリアフリーを最優先に考えたい

★運営面等の今後の課題：どんな利用者？どんな運営者？ルールは？愛称は？

おなじみ！ 延藤せんせいのおなじみ！ 延藤せんせいのおなじみ！ 延藤せんせいのおなじみ！

頭文字を結ぶと…

まとめ



最後に、延藤安弘さん(NPO 法人まちの縁側育くみ隊代表理事)がこれからに向けて、今回出てきたつぶやきをその場でまとめ、ふりかえりました。

- り** 理想に近づくためのアイデアいっぱいませあわせよう
- が** 俄然歴史資源は外から見えるように。
内に入ればPLEASE TOUCHロッククライミングも
- な** 何用にも使える・オープンとクローズな会議室はフリースペースと連続して
床もフレキシブルに(絨毯、ゆか)
- つ** 月見を楽しめる縁側や畑やアニマルコーナーで、多世代が混ざりあう
- の** 望むらくはうわばき。綺麗に、そしてバリアフリーに。
- ち** 地域内外の人びとが集えるゆったりカフェ・キッチン、そしてアルコールOK!
アットホームなフリースペース
- た** 宝としての池の周辺散策コミュニケーションと
水辺とのつながりをデザインしよう
- か** かくれんぼロフトも秘密基地もある。子どものわくわく空間！赤ちゃん駅も。
- と** 図書館が遠いので気軽に子供も大人も本の森に親しめるもちよりライブラリーを
- ち** ちょっと困り事、相談に使える、
4人ぐらいで入れるコーナー・ステンドグラスで輝く光を
- も** もちつきを大人数でやれる場と学童とのつながりを！
- も** 気もちのよいデッキスペースで、建物と自然と学童をつなごう
→(頭文字を結ぶと…)

きもちとかたちのつながり—皆さん自身でキモチをカタチつなぐワークを見事に
されました！設計者の山田さんに託し、次回に期待しましょう！

【アンケートより】

1) 本日の回について

- ・新しいものを皆でつくるワクワク・ドキドキ！楽しくお話できました。
- ・共生ステーション開設にむけて、形づくり(道筋)ができた。

2) グループワークについて

- ・水辺とのつながりを感じられるものに案としてイメージが色どられました
- ・バリアフリー目線だと、新しい発見がありました。
- ・内と外の共用。フリースペースと会ぎ室の共用。
- ・イメージする写真や間取りシール等のアイテムがあったので、グループ内で共有し易かったです。
- ・たいへん盛り上がり、良い意見が出たと思います。又、他の方の違った見方でお話を聞けてよかったです。
- ・共生ステーションに対し、期待がてんこ盛り(どれを残し、どれをあきらめるか難しそう)

3) 全体発表について

- ・学童と共生ステーションのあいだに広場を是非
- ・レプリカのロッククライミングは新しい発想で、子供達はとても喜ぶと思うので実践していただきたいと思います。
- ・本質は同じ方向を向いていると思うが、個性的なアイデアもあった。何よりも楽しんでやっている(参加している)雰囲気がいい。
- ・夢を形にふくらませ。一歩前進した。

4) その他

- ・名前 共生ステーションはない！！
- ・ルール作りもしなくては…。
- ・どんな人がまとめ役になるの？
- ・事前に課題を提示、それに対する考えを持って参加できればより深い話し合いが出来たと思われる。

『市が洞地域共生ステーションづくりワークショップ』通信 No.02』

発行日：2016年3月26日

作成：NPO 法人 まちの縁側育くみ隊

問合せ：長久手市暮らし文化部たつせがある課 (TEL: 0561-56-0602 (直通))